

ちようふ

国道2号長府地区防災対策検討委員会（概要）

しものせき ちようふ あんようじ しものせき しょうや しんまち
国道2号下関市長府安養寺から下関市勝谷新町においては、土砂災害特別警戒区域に指定されているなどの防災面での課題に加え、長府トンネルの老朽化や事故の多発など複合的な交通課題を抱えています。このため、自治体や有識者にも参画頂き、「国道2号長府地区防災対策検討委員会」を設立し、地元のご意見もお聞きしながら、令和3年12月より本区間の防災対策の検討を進めてまいりました。

この度、**対策内容**についてとりまとめましたので公表します。

- 開催日：令和5年12月26日（火） 10:00～11:00
- 有識者：進士 正人 山口大学 理事
榎原 弘之 山口大学 大学院創成科学研究科 教授
菅 正史 下関市立大学 経済学部 公共マネジメント学科 教授
- 対策内容：現道トンネル + 別線2車線トンネル案
- 整備延長：L=約1.0km

<委員会開催経緯>

- R3.12.21 第1回 現状の課題
- R4. 6.14 第2回 対策案の方針検討
- R5.12.26 第3回対策内容とりまとめ

<対策案の特徴>

- 車線数が4車線となるため、渋滞の緩和、追突事故等の減少に加え、自歩道整備により安全性も向上。
- 上下分離トンネルであるため代替機能を有するとともに、国道9号、中国縦貫道の通行止め時に迂回機能も発揮。
- 新設トンネルは高い健全性を有するとともに、既設トンネルの有効活用も可能。

